

■使用評価マニュアル: CASBEE 戸建-新築 (2010年版)

■使用評価ソフト: CASBEE_DH-NC_2010v1.2

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	ハイブリッドエコハウス		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 確定 一部確定
竣工年月	2011年5月	竣工	＜備考＞		
建設地	熊本県菊池郡菊陽町の森				
用途地域	準住居専用地域	確定			
省エネルギー地域区分	IV				
構造・構法	在来軸組工法	確定	評価の実施日	2011年12月4日	
敷地面積	233.29 m ²	確定	作成者	戸-03637-15 関 智子	
建築面積	73.10 m ²	確定	確認日	2011年12月4日	
延床面積	122.80 m ²	確定	確認者	戸-03633-15 大家 賢介	
世帯人数	4	確定			



2-1 すまいの環境効率(BEEランク&チャート)

環境品質 G

環境負荷 L

BEE=1.0

3.4

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

ライフサイクルCO₂ (kg-CO₂/年・m²)

建設 修繕・更新・解体 居住 オンサイト オフサイト

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

100% 61% -4% -4%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

資源を大切に使いゴミを減らす

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア= 4.0

暑さ・寒さ 健康と安全・安心 明るさ 静かさ

Q2 長く使い続ける

Q2のスコア= 3.9

長寿命に対する 維持管理 機能性

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア= 3.4

まちなみ・景観 生物環境の 地域の 地域の資源の活用

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア= 4.7

建物の工設備の性能で省エネ 省エネ 水の節約 維持管理と運用の工夫

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア= 4.3

省資源、廃棄物抑制 生産・施工段階に役立つ材料の採用 における廃棄物削減 リサイクルの促進

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア= 3.3

地球温暖化 地域環境への配慮 周辺環境への

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>森林認証国産材活用や天然乾燥による低炭素な建築手法で建設時のCO₂排出を低減させ、高断熱化と高効率設備による省エネ+大容量の太陽光発電による創エネで、居住時のカーボンマイナスの取組みを推し進めると同時に、住宅の長寿命化によりカーボンマイナス期間の長期化を図り、住宅の建設～居住時～解体までのライフサイクルCO₂排出をマイナスにするLCCM住宅を目指す建物となっております。</p>		
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>断熱性能では、日本住宅性能表示基準「5-1省エネルギー対策等級」における等級4を超える水準の断熱性能(熱損失係数1.9以下相当)を確保しております。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>設備配管は維持管理、点検できる工法(給水給湯:床下配管・排水ヘッダー方式)を採用、排水管の基礎貫通はメンテナンス性に配慮して基礎立上り部分より直接貫通する施工しております。</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>沿道からの建物後退距離、建物高さ、屋根形状、接道部の植栽計画、車庫の配置などが周囲の建物と連続し、調和のとれたまちなみを形成すると共に、豊かな沿道空間を演出しております。持続可能な山林から産出される木材を、一部外壁、軒裏、ウッドデッキに使用し、意匠アクセントとしております。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>高断熱化と高効率設備による省エネ措置と、太陽光エネルギーを最大限に利用するため、大容量の太陽光発電による創エネを行う。照明・家電・厨房機器はエネルギー効率が高いものを採用し電力消費を抑え、節水型機器・便器を採用し、水資源を有効に利用しております。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>木材は「持続可能な森林から産出される木材」を使用しております。また、プレカット加工をすることで現場加工を極力減らし、生産段階での廃棄物の削減に取り組んでおります。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>雨水タンクを設置して、雨水排出負荷の抑制を図っております。</p>